

「ベトナム人介護士を指導する時の課題と解決」

二文字屋修 NPO法人AHPネットワークス

ベトナム社会主義共和国地図



面積：32万9,241平方メートル
(九州を除いた日本の面積とほぼ同じ)
人口：9,946万人(国家統計局2022)
キン族(86%)と53の少数民族。
高齢者人口：1,300万人(公安省2022)
高齢化率：13%(60歳以上、VN看護協会)
国民健康保険：○
介護保健：×
有料老人ホームは全国に約40カ所

1, ベトナムの歴史

紀元前214年 秦の始皇帝がベトナム北部を支配。その後前111年、漢の武帝、唐と続いてベトナム全土を支配

736年 奈良東大寺大仏開眼供養会にベトナムの僧・仏哲が舞と音楽を奉納

761年～767年頃に阿倍仲麻呂が安南都護府(現ハノイ)に赴任

1010年 リタイトーがタンロン(現ハノイ)建都、ベトナム初の長期王朝

16世紀 中部ホイアンに日本人町が栄え、千人以上の日本人が住んでいた

1858年 フランスと戦争が始まる。1884年フランスの植民地となる

1930年2月3日 ホーチミン氏が香港でベトナム共産党結成

1940年9月 日本軍が北部に進駐。1941年7月に南部を占領し、全土を支配。

1944年～1945年 日本軍が米作地帯をジュート畑に転換し、備蓄米を接収したため200万人近くが餓死

1945年9月2日 ホーチミンがベトナム民主共和国独立宣言

1954年5月7日 ディエン・ビエン・フーの戦いでフランス軍に勝利、パリ和平協定でベトナムが南北に分かれる

1965年2月7日 アメリカ軍の北爆が始まる

1973年3月29日 アメリカ軍撤退。9月、日本と外交関係樹立

1975年4月 サイゴン陥落。インドシナ難民が流出。日本は2005年までに約12,000人受入れ

1976年7月2日 ベトナム社会主義共和国樹立

1978年12月23日 ベトナム軍がカンボジアに侵攻し、1989年9月26日に完全撤退

1979年2月17日 中越戦争勃発、3月18日に中国軍が撤退

1995年7月 アメリカと国交正常化。ASEAN加盟

2007年 WTO加盟

2, 第一次産業

胡椒(輸出量世界第一位)、コーヒー豆(同第二位)、米(同第二位)

カカオや果物が豊富。

3, 市民生活

Caféが多い、外食が多い、バイクが多い、ゴミが多い、道路渋滞、お昼寝の習慣、

ワイロは賄賂ではない、女性がよく働く、男性は、、、

4, 日本とベトナム

a, 日本人のベトナムイメージは？

親日的、勤勉、手先が器用、実習生が多い、犯罪のニュースが多い、.....。

b, ベトナム人の日本イメージは？

勤勉、真面目、経済発展、優しい、時間に厳しい、.....。

c, ベトナムの外交=全方位外交

大国間の争いに巻き込まれないよう、どの国とも近すぎず、遠すぎない関係
 日本：2022.4.30 岸田総理ベトナム訪問
 2023.11.28 トゥオン国家主席夫妻来日、皇居で昼食会
 両国関係は包括的戦略的パートナーシップに格上げ
 アメリカ：2023.9.10 バイデン大統領ベトナム訪問
 両国関係は包括的戦略的パートナーシップに格上げ
 ロシア：2023.10.17 「一帯一路」北京フォーラムに参加したトゥオン国家主席が
 プーチン大統領にベトナム訪問を招請し、
 プーチン大統領はトゥオン国家主席にロシアに招待するなど両国関係は良好。
 中国：2023.12.12 習近平国家主席ベトナム訪問
 ベトナム・中国運命共同体構築宣言
 *ベトナムは社会主義国家のなかで、比較的自由的な空気が漂っている。

5, 外国人介護職員受入れ数

在留資格	受入れ実績
EPA介護福祉士・候補者	在留者数： 3,257人 *2023.1 国際厚生事業団
在留資格「介護」	在留者数： 5,339人 *2022.6 入管庁
技能実習	在留者数： 15,011人 *2022.6 入管庁
特定技能1号	在留者数： 17,066人 *2023.1 入管庁

万城目正雄「技能実習制度 30 年の経験と今後の変化」(2023.10)

6, EPA三国の介護福祉士国家試験合格率 (R1年度~R4年度平均)

インドネシア：41.0%
 フィリピン：36.0%
 ベトナム：90.7% (厚生労働省発表資料から作成)

*なぜベトナムは合格率が高いのでしょうか。

7, 2023年度 EPA看護・介護福祉士候補者数と受入れ希望数

		候補者数	求人数	現地説明会参加施設
ベトナム	看護	22	23	5
	介護	93	308	44
フィリピン	看護	15	35	5
	介護	442	316	37
インドネシア	看護	22	17	2
	介護	437	500	49

AHP作成 (JICWELS 聞き取り)

*ベトナムの介護福祉士候補者が激減しました。ちょっと衝撃的です。

8, 外国人と業界の専門用語

*専門用語を簡単に (やさしい日本語) する必要がありますか。

9, JVEPA 介護福祉士帰国者アンケートから (28名)

- a, ベトナムで介護の仕事をしている・・・1名、していない・・・27名
- b, 日本の介護経験が役立った・・・25名、役立っていない・・・3名
- c, 再来日して介護の仕事をしたい・・・13名、したくない・・・4名
- d, ある方のアンケートを以下、原文のまま紹介します (在留期間5年6ヵ月)

Q1. 高齢者介護の業務(仕事)について、あなたの経験をお聞かせください。

a, すぐに慣れた業務はなんですか

- ・ベッドメイキング、体位変換、食事準備、コップ洗い、お茶いれ、掃除、足浴、手浴、全身清拭、衣類着脱、車いす移動介助。

b, なかなか慣れなかった業務はなんですか

- ・重度認知症(精神障害ほど)の方が暴れる時の対応は今でも自信を持っていません。
- ・事故報告書の書き方、緊急時対応に慣れるのは3年ほどかかりました。

c, あなたが得意な業務はなんですか

- ・就寝介助、移乗介助、コミュニケーションだと思います。

Q2. 日本の高齢者介護について、あなたの意見を聞かせてください。

a, 良いところ

- ・色々な行事やクラブが行われて、利用者が毎日楽しく過ごすことができます。家に住むより、施設に住んだほうが楽しいと思います。
- ・利用者は自己決定権利が有って、自分がやりたいことがあればやれます。
- ・高齢者は自分の家で老老介護は本当に大変なので、施設に入れるなら助かる事だと思います。
- ・遠い所で働けない人は近くの施設で介護の仕事できるから、失業者が減ります。高齢者に対しても、労働者に対しても、お互いに助かると思います。政府が保険制度作ったり、税金でサポートしたりして、色々なサービスを提供するのは一番いい所だと思います。
- ・色々な設備が有って、利用者の生活は楽です。
- ・外国人も日本の施設で働いて、多様な文化が見られ、高齢者は外国に行かなくてもいいです。

b, 良くないところ

- ・固定されている事が多く、自由に動けません。全部のドア、窓、階段の入り口など鍵をかけ、エレベーターも自由に使えません(一つの原因 は見守りのスタッフが足りませんから)
- ・利用者が出かけるチャンスが少ないです。
- ・家に帰って、家族と過ごしたがっても、できない場合が多いです。家族は役割が少なく、施設に任せるケースが多いです。
- ・介護の仕事は責任が重たいと感じて、ストレスが溜まって、辞める人が多いです。
- ・人材不足で一人が2-3人の仕事を負担して、ケア質が悪くなるし、事故も起きやすいです。
- ・節約の為、質の良い物品を使用するようにする所もあります。
- ・一部の職員は他の仕事ができないので、介護が嫌でも介護の仕事をしなければなりません。このスタッフ達から虐待するのがよく見られます。特に夜勤はスタッフ一人か二人しか居ませんので虐待が起きやすいです。カメラが有っても管理しにくいです。

c, 改善したほうが良いと思う事

- ・専門の勉強を強化して、介護職の質を高めたほうが良いと思います(特に介護倫理の勉強です)施設内のスタッフ研修や訓練など忙しくてもなくさないように。介護仕事ならいくら気を付けても事故をおこす時もあります。大きい事故起こしてしまうと、職員が落ち込んでしまいました。それから業務にの自信がなくなったり、仕事辞める人もいました。そんなことに会ったら、どうふうに考えたら超えるか、勉強したほうが良いと思います。
- ・人材不足の状態はずっと続くと、職員の体を壊してしまうし、介護質が悪くなって、利用者も影響を与えますので介護職のサポート制度を増やして、求人したほうが良いと思います。
- ・法律に反していないけれども、介護職は祝日休みがない事になっています。病気じゃないと有給休暇をなかなか取れない事もあります。リフレッシュの為、休日が増えたらいいなと思います。

Q3.「このようなサポートがあればいいのになあ」と思ったことは何ですか

- ・遅出の勤務なら送迎バスを使用させていただければよかったですと思います。暗い道で、一人で自転車で帰るのが怖かったです。
- ・国家試験に合格した後、結婚している人の家賃のサポートは9割から2割になります。減らさないで、そのままの制度にしたらよかったのに。
- ・国家試験の一年前から、勉強時間を作ってほしかったです。
- ・最初の半年の事なんですが、周りのスタッフが外国人が嫌がっていました。どうして外国人が来たか、意味が分からなくて、仕事も出来ていないし、日本語もあまり分からないし、勉強時間も作らないといけないし、重い荷物だと思われました。上の人はEPA プログラムの意味が分かっていて、私たちを迎えましたが、周りの職員はEPA プログラムを知らなくて、良くない態度が出て、困っていました。半年たって、仕事はほぼ出来てきて、勉強時間も無くなって、職員の態度も変わりました。なので、初めて外国人を受ける施設は事前にスタッフに理由などを説明してあげたら、外国人が困らないと思います。

10. 日本人介護職員へのアンケート「外国人介護職員と一緒に働いていかがですか」

- 仕事に対するモチベーションが高い。
 - ・日本人職員の仕事に対する志しが低いというわけではないが、外国人職員は、単身、異国の地で働き、家族に仕送りをすると言った背景から、責任感もあり、仕事に対するモチベーションが高い様に感じられる。
 - ・日本人新人職員であれば、業務内容、介護の専門知識の習得が主であるが、外国人職員は、日常的な日本語、文化の習得も合わせて必須となる為、より努力を要するが、粘り強く、柔軟性を持って、対応し、習得している。
 - ・「日本語は難しい」と言いながらも、日本人の新人職員に「私たちが覚える事が多いのだから、あなたなら大丈夫！頑張ってください！」と、外国人職員が日本人新人職員を励ますこともあった。
- 温かい人柄。
 - ・温かく、陽気な人柄で、職員、ご利用者共に親しまれる。
 - ・初めはコミュニケーションが難しいが、その分、一生懸命に話を聞こう、伝えようとする姿勢が見られる。その姿勢や思いが信頼関係へと繋がっていく。
- 業務習得に時間を要する。
 - ・言葉の壁、文化の違いがあり、業務を教える際にも、説明に時間を要する。特に記録業務が行える様になるまでには、時間を要する。
 - ・理解していないのに、分かったという事があるので、施設の育成担当職員が説明し、先輩外国人職員が通訳し、理解出来ているか確認を行う事が大事。
- 生活面、就業規則など、全般的な支援が必要。
 - ・生活面でも、細やかなトリートメントを要する。
 - ・言葉の壁、文化の違いから、自己判断がアクシデントに繋がることもある。個人主義、自分勝手、給与に細かい。
 - ・自転車で道路の真ん中を走る。駅前に自転車を停めて、違法駐車で移動される。
 - ・アパートにTVがないのに、NHK受信料訪問員にクレジットカードを渡して、契約してしまうなど。
- 受け入れに関して
 - ・マッチングの段階から、互いに質疑応答を繰り返すことで、受け入れ後の認識のズレを少しでも小さくする。特に待遇面や住環境など。
 - ・受け入れ施設の近隣に住んでもらう事で、生活面での支援が行いやすい。

* 上記9と10のアンケート資料は、AHP が実施したトヨタ財団助成「家族介護の国から介護保険の国へ・・・日本の高齢者介護施設で働く外国人介護士の安定化と異文化協働の構築」による調査の一部です。

11. 外国人介護職員が定着するとは？

* 何年働いたら定着したといえるのでしょうか、どう考えますか。

